

ゆすり葉

第103号

令和8年1月21日

■発行：青少年育成本太小地区会 ■発行者：田中喜代美

■事務局：浦和区本太 2-26-25

さいたま市立本太小学校内 TEL 882-3007



本太小学校・北浦和小学校・本太中学校の三校合同訓練。停電などを考慮に入れた実践的のシミュレーションです。先生方、学童・児童クラブの指導員の方々が本番さながらの緊張感で取り組んでいらっしゃいました。

◆引き渡し訓練見学

令和七年四月十八日（金）

小学校からお声掛けいただき、引き渡し訓練の様子を見学しました。学校が日頃から非常時の対策に、熱心に取り組んでいる様子が伝わってきました。とはいえ、もちろん先生方にも家庭があります。小さい子どもをお持ちの先生も多く、災害時に地域の協力は不可欠です。

ところで、地域とは誰のことでしょうか？自治会・町会や育成会などは真っ先に思いつく「地域」かもしれませんが。ですが内情は、仕事や育児、介護を抱え、なんとか時間をやりくりしている人たちが運営されています。人数も多くはなく、しかも多くの役員が複数の組織に所属しています。育成会も民生委員や自治会の兼任が多く、広域災害時は優先順位の選択を迫られそうです。

では改めて、「地域」とは？住民は全て「地域」の構成員です。薄く広く支えることで、層は厚みを増します。「地域の力」というワードを自分事として捉えること。住民が全員当事者であってこそ、安心安全を守る「地域」なのです。

ご挨拶



青少年育成本太小地区会

会長 田中 喜代美

日頃より皆様方には、育成会の活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本年度も皆様方のご支援の中で、子どもたちは多くの経験を積むことができました。小学校の全面協力のもと行われた浦和フィルハーモニーと金管バンドによる「あじさいコンサート」、そして熱戦が繰り広げられた「ドッジボール大会」など、笑顔が満ち溢れた活動は、子どもたちの心に深く刻まれていることと思います。これらの活動は、学校・家庭・地域の垣根を超え、共に助け合う大人の姿をお手本として、子どもたちに協力することの大切さや、つながりのあたたかさを伝えることができます。

校長先生が常々おっしゃる「共育は愛」というお言葉は、まさに私たち育成会活動の根幹をなすものです。学校・家庭・地域が一体となり、子どもたちを見守り育むことこそ、真の共育であり、愛であると深く共感しております。子どもたちが安心して、そして伸び伸びと育つことのできる環境は、皆様の温かいご支援があつてこそ成り立ちます。これからも、この「共育は愛」の精神を大切にしながら、子どもたちが更に豊かな経験を積み、健やかに成長できますよう、より一層魅力的に活動して参ります。

子どもたちの明るい未来のために、どうぞ引き続きご協力をお願い申し上げます。

あじさいコンサート 六月二十一日(土)

浦和フィルハーモニー管弦楽団から四名の奏者をお招きし、本太小学校金管バンドと合同で演奏会を開催しました。金管バンドがまず二曲を演奏し会場を盛り上げてくれたところで、オーボエ・ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロによる管弦楽コンサートがスタート。楽器の説明を交えつつ、クラシック・アニソン・Jポップとバラエティに富んだ構成で美しい音色を聴かせてくださいました。

最後は浦和フィルと金管バンドがコラボし、「千本桜」を体育館いっぱいに響かせました。



普段はオーケストラで活躍の方々ですが、編成でも柔らかな音色が聴衆を魅了します。



プロの演奏者と一緒に全力でやりきった「千本桜」！中央の初音ミクは音楽の平田先生。体当たりのパフォーマンスで終始盛り上げてくださいました。

参加児童数200名。

大人と未就学児229名。

今回は事前申込無しの行事でしたが、先生方やお手伝いを含め444名が鑑賞しました。



〈反省〉

● 熱い最中のイベントのため、保護者の方々から「時期を変えられないか」との声を多くいただきました。体育館を利用する団体は多く、学校行事との兼ね合いもあって、なかなか難しいのですが、熱中症の危険はひしひしと感じており、育成会としても対応を検討中です。

● 撮影は金管バンド保護者がお子さんを撮る場合以外ご遠慮願っていたのですが、残念ながら浦和フィルの演奏を動画撮影している方が散見されました。報酬が発生する演奏は原則動画撮影禁止です。私たちも、行事の際にはルールをわかりやすく伝えられるよう心がけたいと思います。

青少年育成本太小地区会とともに



本太小学校学校地域連携
コーディネーター

加戸 照夫

令和七年四月から本太小学校学校地域連携コーディネーターとして勤務している加戸照夫と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本太小地区は地域の皆様がとても暖かく、学校教育に熱心で理解があり、協力的であるとお伺いしています。子どもたちにとっても住みやすい地域で、幸せだなと感じております。

先日、本太中学校の生徒さんと話す機会がありました。みな、この地域の人たちは誰にでも明るく挨拶や声掛けをしてくれて、「とても清々しい気持ち」になれると話してくれました。

今年度実施された、青少年育成本太小地区会主催の「あじさいコンサート」「子ども会対抗ドッジボール大会」。どちらも素晴らしい取り組みで地域の皆さんと子どもたちにとってどちらも忘れない思い出になったことでしょう。

あらためて、地域の皆様、育成会の皆様に感謝申し上げます。

子ども会対抗ドッジボール大会

十一月八日(土) 本太小学校校庭

風もなく穏やかな日差ししの絶好のスポーツ日和に恒例のドッジボール大会を開催しました。
四十チームがそれぞれのカテゴリーの頂点を目指して熱戦を繰り広げました。



391 人分の歓喜と悲鳴轟く



人数は少なくとも、高学年女子の試合は熱い！今年も合同チーム(本太3・4)がありました

ルールを変更してみました

長年「チームの人数が違うのは不公平」という声が多数ありました。基本は十人。九人や八人のチームは最初から不利です。ただ、少ない方に合わせると、人数の多いチームは出場できない子が多くなってしまうのが悩ましいところでした。

そこで今年はチーム人数によってリーグを分け、その上

で対戦時の人数を揃える方式を採用しました。試合に出られない子を極力減らしつつ公平な試合にする試みでしたが、事前連絡が行き届かず、また時節柄、当日病欠の子も多く、一部混乱もありました。

よりよい大会を目指し改革を続けます。来年は子ども会と相談しながら編成したいと考えています。



高学年女子優勝 元町2



高学年男子優勝 元町1 A



低学年混合優勝
駒場・領家マンボウ

準優勝

低学年混合 元町2 カンガルー
高学年男子 元町2 B
高学年女子 駒場・領家

ご協力ありがとうございました

☆ビクターズ
☆サッカー少年団
☆PTAソフト
☆本太スパークル(ミニバス)
☆本太小学校PTA
☆本太中ボランティア(43名)
☆小学校の先生方
先生方には前日のライン引きから、準備、審判、その他多大なるご協力をいただきました。

多様な参加のあり方を目指そう！

嬉しいことに、ドッジボール大会に初めて「おぞら」から参加がありました。試合に出場した子ども応援の子もいましたが、これまで「参加の多様性」の視点が欠けていたことを反省しました。
もちろん、誰もが一緒に活動できる行事がベストですが、それが難しい場合でも、様々な方法で参加できるよう、模索していきたいと思っています。
来年は募集段階から「応援参加」の選択肢を加える予定です。

青少年育成巡回活動

(さいたま市事業)

例年夏休み期間に行っていた巡回活動ですが、近年の夏は猛烈な暑さに見舞われることから、夏季巡回活動を実施することが困難になりました。今年は九月二日～十一月二十一日の実施となりました。しかし二学期の実施につきましては、「PTAの見守り活動と被るので意味がないのでは？」などの厳しいご意見もありましたが、この活動はさいたま市が育成会を窓口市内の小中学校の校区に対して要請しているものであり、さいたま市全体の取り組みでもあります。

犯罪は夏休みに限って起こるものでもありませんし、いつ、どんな時に子どもたちが巻き込まれるかわかりません。だからこそ、普段からたくさんの目で、子どもたちやお住いの地域を見守っていただきたいのです。

安心・安全で暮らせるように、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

令和七年度定期総会 令和七年六月七日（土）

本太公民館において、令和七年度の定期総会を開催しました。元町一丁目石井康博町会長に議長をお願いし、令和六年度事業報告・決算報告・監査報告、令和七年度事業計画・予算案について審議が行われ、全ての議案が承認されました。

令和七年度事業計画 ※黒字は育成会主催

- ・合同常任委員会（年一回）
- ・常任委員会（年二回）
- ・定期総会
- ・協力団体助成（ぶんぶん文庫、スポーツ少年団五団体、ボーイスカウト、ガールスカウト）
- ・本太SSN、MSN参加
- ・あじさいコンサート開催
- ・本太チャレンジスクール協力
- ・青少年育成巡回活動実施（九月十一月）
- ・子ども会対抗ドッジボール大会開催
- ・公民館文化祭ふれあい広場担当（二日間）
- ・社会福祉協議会グラウンドゴルフ大会参加
- ・浦和まつり、十二月まち青少年巡回活動
- ・卒業生・新入学児童にお祝い品贈呈
- ・青少年育成巡回活動（毎月第三金曜日）
- ・広報「ゆずり葉」一〇三号発行
- ・新年懇親会開催
- ・本太小学校体育館AEDリース代負担
- ・青少年育成さいたま市民会議参加・協力
- ・浦和区連絡会参加・協力
- ・関係団体事業に参加・協力



令和7年度予算

収入の部	単位 円
自治会助成金	568,900
さいたま市助成金	200,300
東部地区社協助成	20,000
本太公民館振興費	10,000
雑収入	1,000
繰越金	832,358
合計	1,632,558

支出の部	単位 円
運営費	295,000
助成行事費	
ぶんぶん文庫	30,000
地域団体	70,000
地域行事	350,000
活動費	207,000
予備費	680,558
合計	1,632,558



功労者表彰

令和7年2月22日（土）

市産業文化センターで開催された第23回さいたま市青少年育成推進大会において

保 優子 さん(運営委員会)
高橋 和江 さん(運営委員会)
飯吉 宏治 さん(補導委員会)
佐藤 由紀 さん(補導委員会)

4名が5年功労で表彰されました。

◆青少年育成さいたま市民会議浦和区連絡会

青少年育成さいたま市民会議には、区ごとの連絡会があり、本太小地区会は浦和区連絡会に所属しています。連絡会はそれぞれに情報交換や研修会などを行い、単位地区会の連携に努めています。

代表は二年ごとに各地区会が回り持ちで務めますが、今年度、本太小地区会の田中会長が代表に就任しました。

年二回の会長会や年度初めの全体会を、本太小学校をお借りして開催することになり、学校にはお手数をかけますが、他地区の育成会の方々に、本太小地区をご紹介しますよい機会になると思います。

◆PTA・育成会懇親会

令和七年十二月十二日（水）

小学校のご配慮で、PTA役員のみなさんとの懇親会の機会をいただきました。昨今は

役員のなり手がなく、PTA

Aがあまり機能していない

学校もある中で、本太小学

校の本部は立候補された役員ばかりで頼

もしい限りです。



育成会も行事のたびにお手伝いいただき、大変お世話になっております。今後も連携していけたらと願っています。